

2025年度 町田市立南第一小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和6年3月31日

学校教育目標 ○深く考える子ども(自分で学ぶ みんなで学ぶ) ○粘り強い子ども(なりたい自分を目指し やり抜く) ○助け合う子ども(違いを理解し 力を合わせる) ○元気な子ども(望ましい運動習慣 生活習慣)	学校経営の重点 ○地域と協働したキャリア教育を土台にして、学びに向かう力を育成するとともに、自ら学び続ける力を支える基礎学力の伸長を図る。
○目指す学校像………将来への希望を抱いて 高め合える学校 ○目指す児童・生徒像………なりたい自分に向かって、自ら学び、仲間と学び合う子ども ○目指す教師像………職務に責任とやりがいを持ち、自己研鑽を重ねながら児童に愛情をもって指導ができる教師	重点目標の成果と課題

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○ %	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価 記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有、連携した教育課程を実施する。	授業等の公開や積極的な情報発信を行い、教育活動への理解を図る。	学校(学年)だより、専科だよりやホームページで、保護者のニーズに配慮した分かりやすい情報を発信する。	4. 週4回以上の更新 3. 週3回以上の更新 2. 週2回以上の更新 1. 週2回未満の更新			A 学校評価アンケート③「情報発信」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート③「情報発信」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート③「情報発信」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート③「情報発信」肯定的評価 55%未満						
			学校公開、学校(学年)行事等積極的な公開とともに、保護者や個人面談を通して良好なコミュニケーションを図る。	4. 90%以上のクラスで実施して取組を実施 3. 80%以上のクラスで実施して取組を実施 2. 70%以上のクラスで実施して取組を実施 1. 意図した取組を実施したクラスが70%未満				A 学校評価アンケート④「教育活動公開」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート④「教育活動公開」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート④「教育活動公開」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート④「教育活動公開」肯定的評価 55%未満					
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が導く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	「分かる・できる・参加する」授業を目指し、授業をデザインする8つの取組に基づく授業を展開する	地域人材・地域教材を活用した学習を全学年で実施する。	4. 計画の90%以上の指導場面で実施 3. 計画の80%以上の指導場面で実施 2. 計画の70%以上の指導場面で実施 1. 計画の70%未満の指導場面で実施			A 学校評価アンケート⑤「地域連携教育活動」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑤「地域連携教育活動」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑤「地域連携教育活動」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑤「地域連携教育活動」肯定的評価 55%未満						
			学校運営協議会での本校の教育活動の周知及び情報共有を図るとともに、教育活動の協働に取り組む。	4. 必要情報の90%以上を周知・意見交換 3. 必要情報の80%以上を周知・意見交換 2. 必要情報の70%以上を周知・意見交換 1. 必要情報の70%未満を周知・意見交換				A 学校評価アンケート⑥「地域との一体化」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑥「地域との一体化」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑥「地域との一体化」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑥「地域との一体化」肯定的評価 55%未満					
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にすること意識・意欲・態度を育てる。	多様な人との関りを通して、自己理解・他者理解を深め、自己有用感を高める。	授業改善シートやUDチェックシートを活用し、児童が理解できる授業を実施する。	4. 80%以上の授業で実施 3. 80%以上の授業で実施 2. 70%以上の授業で実施 1. 70%未満の授業で実施			A 児童アンケートで80%以上が「分かりやすい授業」と回答 B 児童アンケートで70%以上が「分かりやすい授業」と回答 C 児童アンケートで55%以上が「分かりやすい授業」と回答 D 児童アンケートで55%未満						
			児童の学習状況を把握し、系統的な指導を通して基礎基本の定着を図る。	4. 90%以上の授業で意図して指導 3. 80%以上の授業で意図して指導 2. 70%以上の授業で意図して指導 1. 70%未満の授業で意図して指導				A 学校評価アンケート⑦「基礎基本の定着」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑦「基礎基本の定着」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑦「基礎基本の定着」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑦「基礎基本の定着」肯定的評価 55%未満					
健全な体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付けた安全指導・安全教育を充実する。	日常的な運動及び健康教育・食育の充実させ、体力の向上を図る。	キャリア教育の4つの能力の活用し、児童が学ぶ意欲をもち、目標に向かって学ぶ授業を実践する。	4. 90%以上の授業で実施 3. 80%以上の授業で実施 2. 70%以上の授業で実施 1. 70%未満の授業で実施			A 児童アンケートで80%以上が「夢4を養って学習した」と回答 B 児童アンケートで70%以上が「夢4を養って学習した」と回答 C 児童アンケートで55%以上が「夢4を養って学習した」と回答 D 児童アンケートで55%未満						
			ICTを活用して、学びを深め広げる協働的な授業を行う。	4. 90%以上の授業で実施 3. 80%以上の授業で実施 2. 70%以上の授業で実施 1. 70%未満の授業で実施				A 教員自己評価で80%以上が肯定的な回答 B 教員自己評価で70%以上が肯定的な回答 C 教員自己評価で55%以上が肯定的な回答 D 教員自己評価で55%未満					
その他	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	児童の主体的な自発的活動を重視した、縦断・横断活動や委員会活動、クラブ活動、学校行事等を行う。	4. 年間活動計画の90%以上で実施 3. 年間活動計画の80%以上で実施 2. 年間活動計画の70%以上で実施 1. 年間活動計画の70%未満で実施			A 児童アンケートで80%以上が肯定的な回答 B 児童アンケートで70%以上が肯定的な回答 C 児童アンケートで55%以上が肯定的な回答 D 児童アンケートで55%未満						
			キャリア教育の視点を中心として、自分を見つめ、振り返り、次ににつなげる場の設定を全校活動で実施する。	4. 90%以上の指導場面で実施 3. 80%以上の指導場面で実施 2. 0%以上の指導場面で実施 1. 70%未満の指導場面で実施				A 学校評価アンケート⑧「自己理解・他者理解」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑧「自己理解・他者理解」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑧「自己理解・他者理解」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑧「自己理解・他者理解」肯定的評価 55%未満					
その他	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	いじめをしない、させない、許さない、見過さない生活指導を徹底する。学校いじめ対応チーム月例会を通して、学校体制の強化を図る。	4. 全ての道徳授業で実施 3. 90%以上の道徳授業で実施 2. 80%以上の道徳授業で実施 1. 80%未満の道徳授業で実施			A 学校評価アンケート⑨「豊かな心の涵養」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑨「豊かな心の涵養」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑨「豊かな心の涵養」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑨「豊かな心の涵養」肯定的評価 55%未満						
			家庭と連携した「元気もりもりウィーク」を毎学期実施し、生活リズムの見直しと改善、定着を図る。	4. 計画の90%以上の指導場面で実施 3. 計画の80%以上の指導場面で実施 2. 計画の70%以上の指導場面で実施 1. 計画の70%未満の指導場面で実施				A 学校評価アンケート⑩「食習慣・生活習慣」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑩「食習慣・生活習慣」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑩「食習慣・生活習慣」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑩「食習慣・生活習慣」肯定的評価 55%未満					
その他	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	体力テストの結果分析を活かして体育の授業改革、体向上月間、体育委員会を通して、運動の日常化を図る。	4. 90%以上の授業及び活動場面で実施 3. 80%以上の授業及び活動場面で実施 2. 70%以上の授業及び活動場面で実施 1. 70%未満の授業及び活動場面で実施			A 児童アンケート「進んで運動した」で肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「進んで運動した」で肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「進んで運動した」で肯定的評価 55%以上 D 児童アンケート「進んで運動した」で肯定的評価 55%未満						
			年間計画に沿った校内生活指導、安全指導、避難訓練等を行い、安全に生活する実践力を育む。	4. 月に1回以上、指導実施 3. 学期に2回以上、指導実施 2. 学期に1回以上、指導実施 1. 年に2回以上、指導実施				A 学校評価アンケート⑪「安全意識の育成」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑪「安全意識の育成」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑪「安全意識の育成」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑪「安全意識の育成」肯定的評価 55%未満					
その他	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	安全な校内環境を整え、自分と他者双方の命を守る力を育成するための校内体制を確立する。	毎週の職員夕会で、児童の問題行動や校内環境等の課題について共有し、組織的な解決に取り組む。	4. 90%以上の必要情報に対して実施 3. 80%以上の必要情報に対して実施 2. 70%以上の必要情報に対して実施 1. 70%未満の必要情報に対して実施			A 学校評価アンケート⑫「安全意識の育成」肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート⑫「安全意識の育成」肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート⑫「安全意識の育成」肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート⑫「安全意識の育成」肯定的評価 55%未満						

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)

取組指標平均 3.5以上	⇒ 評価A
取組指標平均 3以上 3.5未満	⇒ 評価B
取組指標平均 2以上 3未満	⇒ 評価C
取組指標平均 2未満	⇒ 評価D

成果指標評価基準

成果指標平均 80%以上⇒	評価A
成果指標平均 70%以上⇒	評価B

学校関係者評価の評価基準例

A⇒	取組・成果ともに十分評価できる
B⇒	取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒	目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒	重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※ 学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。